

i-MAGINARY PLANETつながりで
大木彩乃ライブ &
DJ喫茶室ネタ

2002.3.9 sat. at DoCoMo
Mobile Media Labo
大木彩乃 SPECIAL LIVE

新譜も続々お目見えし
声にくるまれた一時

02年1月~3月のα-Image Artist 大木彩乃さんが、ドコモ・モバイルメディアラボに登場。リリース前のアルバムの中から6曲を披露してくれた。「どんどんチカラを抜いていって、自然体でリラックスした音楽をやり続けて、そんなライブをしたい」と語る彼女の言葉どおり、心地よい歌声でメディアラボは満たされた。

番組とリンクしたライブ、
イマプラDJはこの2人!

4月からは月に1回、4月15日四条柳馬場に移転オープンした「ドコモモバイルメディア ラボ京都」で開催されている「i-MAGINARY PLANET Special Live」。で、その番組を創りあげている二人のDJが、川原ちかよさんと橋本悠督さん。もちろん「ドコモモバイルメディア ラボ京都」では、番組から飛び出して司会を担当だ。

■ i-MAGINARY PLANET 毎週金曜日22:00~26:00オンエア



4/24発売の3rdアルバム、想いがギュッと詰まった一枚

「アルバムタイトルは最後に付けたんですね。曲を作っていく中で、いろんな自分に気付かされたので『鏡のような作品だな』って感じたんです。だから『鏡』という言葉を使いたいなと思って…」と彩乃さん。「聴いてもらった時に、言葉や音がその人の考え方にびよんと飛び込んで行くものになったと思います。今の私の総決算」

2002.4.24 release
「鏡と女」大木彩乃
3rd Album ¥3,045



My「まどろみ喫茶室」は、ありますか？

今月号の巻頭特集は、永い時を紡いできた「まどろみ喫茶室」イマプラのDJの2人に尋ねてみました、「心に残る喫茶室は？」

京都っ子ですもの

喫茶デビューはもちろんイノダ!

実家は北山、生まれも育ちも生粋の京都っ子なのが川原ちかよさん。「母が特で働いてたおかげで、二人の待ち合わせは阪急電車と北山からの市バスとがクロスしてた大丸前。で、まずはイノダに寄って…っていうのが定番。その頃から『イノダのナポリタン(正式名称は『イタリアン』程美味しいもんじゃない)って今でも信じてるし』とのっけから勢いが違う! 「19歳くらいかな、初めて一人が入った喫茶店もイノダの三条店(本誌P.16参照)。あの円卓に座って、新聞読んだりするのが大人って思ってたから、『ああ大人になったなあ』って(笑)。で、今でもイノダ派。待ち合わせや一人で行くことも多いんだけど、あの場所では携帯メールじゃなくて、手紙に書き込みって感じ。おじさんがオーダーを取ってくれるのもいい」。子供の頃から変わらず存する喫茶室は、成長の証にもなる存在のよう。

川原ちかよ

「いつもにも増して、サッカー観戦に手カラ入りまくりの今月! そう、いよいよワールドカップの開幕!」

超甘党の僕は

ケーキの香りについ釣られ…

大阪出身の橋本さん。京都歴3年目ゆえ「まだまだ知らないところが多くって…」とは言うものの、強い印象を残しているのは「東洞院蜆業師のセカンドハウス!」。なるほど、喫茶としての歴史は浅いものの、百年を超える時を呉服問屋として刻んできた町家。柱や梁の一本一本が、じんわりと時を感じさせてくれる。「ケーキがチョコレートパフェがないとダメなほど、もっぱら甘党の僕。道に面してケーキ工房があるセカンドハウス東洞院店は、道行く僕の鼻を甘い香りでくすぐる、くすぐる。京都らしい昔のいい雰囲気を残した店内で、庭を眺めながらボリュームたっぷりのチョコレートケーキやアップルパイをほおぼるのは、心地の良いもの」と、つつい足を向ける頻度も高い模様。時が詰まった建物を、現代の感覚で切り取った一軒は、目にも心にもそして鼻にも、訴えかけるようで。

橋本悠督

「20代前半は、もっぱら天王寺のジャズ喫茶通い。京都にもいいジャズ喫茶があるって聞いたんで、近々訪ねてみる予定」